

【Ⅰ 若者が主催】

事業詳細

事業名	朗読ミュージカル「月光の夏」		交付決定額	300,000円	
趣旨・目的	本公演は、第二次世界大戦末期に特攻兵として出撃する前夜、「最後にピアノを弾きたい」と小学校を訪れた青年の実話をもとに書き下ろした朗読ミュージカルでした。音楽・朗読・ダンスを通して、命の尊さや生きる喜びを世代を超えて伝えることを目的とし、平和のありがたさを未来へと継承していくこと、若者その他の世代の芸術表現の場を趣旨としました。ダンス、演劇、音楽という異なる芸術表現の融合や10代から80代の表現者が協働すること、若いダンサーの活躍の場を設けることも目的としています。				
実施内容	演目・曲目等				
	ベートーヴェン作曲 月光、Play with Fire、埴生の宿、蛍、Long Road、Kへのオマージュ、故郷、さらば故郷				
実施内容	構成・出演者・主なスタッフ等 / 展示作品の種類・点数、主な作品名・出品者名等				
	朗読、ピアノ演奏、歌、ダンスが一体となり、観客が一体となり、観客が1人の特攻兵の心に寄り添うような時間へと導くような構成を演出。小学生の子役から戦争を知る80代の演出者まで、幅広い世代が共演し、それぞれの人生経験を重ね合わせながら、命の物語を紡ぐ。舞台上では、ピアノの旋律が兵士の心情を映し出し朗読が静かに物語を語り、ダンスがその魂の軌道を描きました。 出演者/チラシ参照 特攻兵2人 教師役 若い時代と年老いた現代 復員兵2人 小学生4人 ダンサー/ピアニスト(音楽監督、演出兼)主なスタッフ/ステージマネージャー				
実施日時	令和7年9月21日		実施回数	1回	
実施会場 (会場住所)	J:COM北九州芸術劇場 小劇場		参加人数	115人	
実施の成果	助成金活用による工夫や実施の成果				
	上演後多くの方々から「涙が止まらなかった」「子どもと一緒に命の尊さを語り合った」「音楽を通して、平和を感じた」といった感想が寄せられました。戦争を知らない若い世代にとっては、歴史を遠い過去ではなく”生きた人の物語”として受け止める貴重な機会となりました。高齢者の方々からも、「芸術がこんなにも心を動かすとは」「当時を思い出しながらも心が救われた」との言葉をいただきました。世代を超えた交流と共感が生まれ、芸術の持つ「人と人を結ぶ力」をあらためて実感する公演となりました。市内外の学校関係者への案内の他SNSなど多方面から広報を行いました。特にSNSでは、稽古風景や出演者の想いをこまめに発信し多くの共感の声が寄せられました。口コミでも関心が広がり、当日は「わっしょい百万夏祭り」が行われているにもかかわらず会場が満席になる程の盛況でした。観客には教師、母親、学生、そして戦争経験者といった幅広い層が来場し、それぞれが心に深い感動を持ち帰られたようでした。特に複数の学校の教師から授業でこの舞台の内容を話したという報告をいただきました。今回、助成金をいただいたことで、北九州市内にとどまらず広島からプロの俳優、また演出、音楽家を招くことが可能となり、作品の完成度を大きく高めることが出来ました。子どもたちにとって、プロと同じ舞台に立ち、真剣な現場を体験することが大きな成長の機会となり、命や平和をテーマとした物語を「演じる側」として体感することができました。世代、プロアマを超えて共に作品を作り上げる過程は、地域の新たなつながりを生み、観客からも深い感動の声が多く寄せられた。助成により芸術を通じた平和への思いの共有と次世代へとつながる文化的価値を地域に残すことが出来たと感じています。				
	活動の様子				
最も注力した 年齢層(計画)	18～39歳		参加者等の主な 年齢層(実績)	12～17歳	18～39歳
					40歳以上
(共催・後援・協賛 関係機関がある場合) 名称と役割					
その他特記事項					